

太田国土交通大臣、北村海上保安庁長官、本川水産庁長官等を表敬訪問

公益社団法人日本水難救済会では、今年も例年どおり7月1日（日）から8月31日（金）までの2カ月間を「青い羽根募金強調運動期間」と定め、国土交通省、海上保安庁、水産庁に加え、今年から消防庁の後援を得るとともに海事漁業関係団体などの協賛を得て、全国41の都道府県水難救済会と一致協力し、全国一斉に募金活動を展開しています。

そのキャンペーンのため、公益社団法人日本水難救済会の相原会長と向田理事長は平成25年7月1日（月）、ミス日本「海の日」の渡辺けあきさんと共に、太田国土交通大臣、北村海上保安庁長官、本川水産庁長官及び市橋消防庁次長を表敬訪問し、青い羽根を着けて頂き、青い羽根募金運動の普及推進と強調運動へのご支援ご協力をお願いしました。

また、翌2日（火）の閣僚懇談会において、太田国土交通大臣から安倍内閣総理大臣をはじめとする全閣僚の皆様に対し『7月2日（火）から8日（月）までの1週間、青い羽根を着用することにより、青い羽根募金運動の普及推進にご協力して頂きたい』旨のご発言をし、青い羽根を着用して頂きました。

青い羽根募金運動は、昭和25年から全国的に周年実施しており、沿岸で発生する水難事故に際し、全国の津々浦々に設置されている約1,300の救難所・救難支所に所属し、ボランティアで捜索救助活動に当たっている救難所員約5万4千人の救難訓練やライフジャケット・ロープ・救命浮環などの救難用資器材の購入に必要な資金などとして大切に活用されています。



太田国土交通大臣に青い羽根を着けるミス日本「海の日」



北村海上保安庁長官とミス日本「海の日」



本川水産庁長官とミス日本「海の日」



市橋消防庁次長とミス日本「海の日」



(左から) 相原会長、ミス日本「海の日」渡辺けあきさん、太田国土交通大臣、北村海上保安庁長官、向田理事長



7月2日の閣議前に青い羽根を着用された(左から)石原環境大臣、太田国土交通大臣、谷垣法務大臣、安倍内閣総理大臣、甘利内閣府特命担当大臣、古屋国家公安委員会委員長、下村文部科学大臣、稲田内閣府特命担当大臣